

十月から予防接種が受けやすくなります

※ロタワクチンが定期接種に
※インフルエンザ予防接種が始まります



先生のご紹介

大坪 修介

大坪こどもクリニック 院長

PROFILE

熊本大学卒。卒業後鹿児島大学小児科入局。小児科・小児神経専門医。医学博士。鹿児島大学医学部臨床教授。一人ひとりを大切に、誠意をもった診療を心がけています。

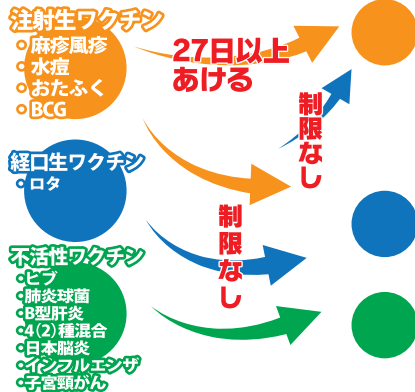
●十月から、予防接種が受けやすくなります。

予防接種には生きたウイルスを注射する生ワクチンと、死んだウイルスを注射する不活化ワクチン、そして飲むワクチンとがあります。これまでは、生ワクチンの後はどのワクチンも四週間あける、不活化ワクチンの後は一週間あけるとしづらかったのですが、それが十月から外れることになりました。生ワクチン同士でなければ四週間あける必要がなくなりました。

これは予防接種をしつかり受けることが重要との認識が広まったためです。

しばらくは混乱が予想されます。今一度母子手帳でこれまでの予防接種で受け忘れていたものがないかどうか確認して下さい。水痘の二回目、四種混合・日本脳炎の追加、九歳からの日本脳炎、十二歳の二混など忘れがちです。一度に数種類受けて大丈夫か、昨日接種して今日接種しても大丈夫か、時期が外れたけどいまからでも大丈夫かなど、予防接種についてはいろいろ不安が出てきます。もちろん打った直後、その後の副反応も心配です。そんなときはかかりつけの小児科に相談してみたいかがでしょうか。不安に少しで

も寄り添えればうれしいです。予防接種は打つことだけが大事なのではありません。その後の経過を含めてしっかりと受け止めることが大事だと小児科医は思っているからです。予防接種は不要不急ではありません。時期を逃さずしっかりと受けて、いろいろな感染症からお子さんを守りましょう。



●ロタウイルスワクチンが無料に

生後二ヶ月から始まる経口生ワクチン、ロタウイルスワクチンが十月から定期となり、無料になります。乳児にとつてひどい下痢症に陥る危険性のあるロタウイルス感染症を、ワクチンを飲んで予防しましょうというものです。十月に二ヶ月になる

赤ちゃん、すなわち八月生まれの赤ちゃんから対象となります。ワクチンは二種類あり、二回飲むのと、三回飲むのとあります。効果は同じです。二回目、三回目を飲むときは、前回と同じものを飲むので、どちらを飲んだか飲む直前にスタップに確認してくださいと間違ひ防止に助かります。また、飲むワクチンですのお腹いっぱいではうまく飲んでくれないです。直前に母乳・ミルクを飲ませるのは控えておくとよいでしょう。

●インフルエンザの予防接種が十月から始まります。

今年には新型コロナウイルスの影響で、特に接種が勧められています。予防接種にくわえて現在励行されているマスク・手洗いや距離をとる行動がそのままインフルエンザなどの流行にも有効である可能性があります。この秋・冬はしっかりと感染対策をしていきましょう。

新型コロナウイルスで毎日がお心配のことと思います。確かにお年寄りや基礎疾患を持つ人にとっては新型コロナウイルスは怖い病気です。ただ、日本では子ども同士のクラスターが発生したり、子どもが重症になったという情報は二ニュースに取り上げられるほど



otsubo.org

大坪こどもクリニック 日・祝日 休診

時	朝	昼	夕	〒890-0034
月	○	健・予	○	鹿児島市田上2-15-11
火	○	健・予	○	TEL.099-286-6121
水	○	健・予	○	FAX.099-286-6127
木	○	健・予	○	※日曜・祝日休診
金	○	健・予	○	
土	○	健・予	○	

稀で、現在はインフルエンザより軽症と考えてよいようです。子どもには、からだを動かすことやコミュニケーション活動はとて大切です。自粛・自粛、中止・中止、スマホ・ゲームで過ごす乳幼児・学童期が短い期間であっても発達にとつてよいはずはありません。人間にはその時期しか育たない能力もあるのです。不安は大きいですが、「仕方がない」ではなく、工夫していろいろ体験させ・遊ばせて欲しいと願っています。そして子どもや赤ちゃんにはマスクをとって笑顔を見せてあげて欲しいです。

